

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 教育職 公募
「募集要領」

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA)は、下記の通り特任助教 (教育職任期制職員) の公募を行いますので、広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. 公募職種および人数: 特任助教(教育職任期制職員) 1名
2. 配属予定部署:
宇宙科学研究所 太陽系科学研究系

3. 職務内容及び求める人物像:

宇宙科学研究所は、生命惑星たる地球の形成へと至った太陽系の起源と進化を実証的に解明することに貢献すべく、太陽系天体の探査を宇宙理学と宇宙工学の融合と大学共同利用の一層の充実によって推進しようとしています。国際的な競争と協力の環境下で我が国がリーダーシップを持って意義の高いミッションを実現するためには、世界の中で日本が果たすべき役割という観点を明確に認識し、その上でプログラム戦略をもってミッションを構築してゆくことが必要となります。具体的には、(I) 日本が主導しつつ国際協力も得ることで、惑星科学上の大問題の解決を狙う戦略的中型計画を実行、(II) 惑星科学上の魅力的な課題に焦点を当てつつ、必要に応じて国際協力も得ることでその解決を狙う競争的小型計画を実行、(III) 惑星科学上の大問題の解決に必須だが日本では主導することにできないスケールの計画については、海外大型計画参加枠を活用、という、3つの方策を効果的に運用することが求められます。太陽系科学研究系のメンバーには、宇宙空間からの観測やその場観測を主な手段とする太陽・地球を含む太陽系天体についての学術研究、及び、それに関連する新しい観測・計測機器等の研究を推進するとともに、惑星探査をプログラムの実行していくことに関して中心的な役割を果たすことが期待されています。

今回募集する特任助教(教育職任期制職員)には、上述の(II)、(III)にあたる、小型計画による惑星探査、あるいは、海外大型計画に参加するとともに、将来の惑星探査に必要な搭載機器開発・データ処理スキームの開発等に携わり、国内の当該コミュニティーおよび宇宙工学研究者と協力しながら、開発部隊の中核メンバーとして活躍することが求められます。さらに、この任期中での経験から宇宙科学の将来像への意識を高め、また、その経験そのものを生かすことで自らの能力を高めることが望まれます。戦略的中型計画も含む将来の太陽系探査プロジェクトにおいて、より上位の立場からの推進ができるだけの見識を獲得したと認められれば、テニュア(任期なしの63歳定年制の身分)が付与され、准教授として採用されます(詳細は後述)。任期中には、少なくとも以下の業務を担当していただきます。

- 競争的小型計画による惑星探査、あるいは、海外大型計画参加枠の計画による惑星探査において、開発部隊の中核メンバーとして、他のチームメンバーや担当メーカー、国際協力の相手方等と協力し、科学成果の最大化を図りつつ計画を推進する。

- 将来の惑星探査に必要な観測機器の基礎開発やデータ処理スキームの開発等を行い、探査から惑星科学を推進することに貢献する。
- JAXA が持つ大学共同利用の役割を理解し、大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともに JAXA 内の各種活動に積極的に参加し、専門研究能力を生かして研究開発やプロジェクトに貢献する。また、大学院学生の教育・指導を実施する。

このような業務に鑑み、今回募集するテニュアトラック特任助教は、少なくとも次の条件を満たすものとします。

- 科学衛星搭載観測機器の開発や運用等、宇宙科学衛星計画への貢献実績を有すること
- これまでの専門分野に拘ることなく、太陽系科学の将来展開を見据えた上で自身の知見を活用する能力を有すること
- 大学院学生の教育・指導を実施する能力を有すること

4. 応募資格:

- (1)博士号を有すること(取得見込みの者を含む。)
- (2)応募締切時点で学位取得時点から原則8年以内又は採用日において学位取得見込みであること。

5. 採用時期:決定後できるだけ早い時期。

6. 雇用形態:常勤

7. 雇用期間:

雇用期間は同一会計年度内とし、契約期間の更新は、当初採用日から起算して 5 年を限度とする。

8. 中間評価・テニュア付与審査:

(1)特任助教は採用後、活動計画を研究総主幹、宇宙科学プログラムディレクタ、関連するプロジェクトチームのプロジェクトマネージャ及び所属研究系主幹と応募時に提出した書類内容に立脚して相談し、5年以内のテニュア付与を目指す研究計画を策定する。

(2)当初採用日から起算して 2 年目を目途に中間審査を行い、研究計画の進捗状況を確認する。

(3)中間審査後雇用終了時まで最大 2 回のテニュア付与審査を行い、そこにおいて宇宙科学研究所の将来プロジェクトにおいて不可欠な専門性を有すると判断された場合は、任期なし准教授として採用される。業績が優れる場合は中間審査と同時に早期テニュア付与審査を行うことがある。

(4)中間審査及びテニュア付与審査は、宇宙科学研究所に所属しない関連分野有識者も加えた評価委員会により行う。

9. テニユア付与審査の観点:

テニユアが付与された後は准教授に相応しい活動を展開すること、すなわち、一定のリーダーシップを発揮して宇宙科学研究所で活動、学術コミュニティーにヴィジョンを提示しそれを共有するグループを形成、ということが求められる。このことを踏まえ、テニユア付与審査の観点は以下の通りとする。

- ①プロジェクトに関連した活動において任務を遂行する上で、専門性を生かすことで主要メンバーとしての資質を示し、そこにおいて成果を挙げたか。衛星ミッションのプロジェクト・サイエンティスト、プロジェクト・エンジニア等、中心的メンバーの有力候補と認められるだけの活躍をしたか。
- ②プロジェクト活動と同時に、それに関連したものも含む研究成果の創出をバランスよく行ったか。その研究成果は、国内外の当該学術分野で評価されるに至ったか、あるいは、その将来性が認められるか。
- ③大学院生等の若手研究者や若手プロジェクト構成員に対してリーダーシップを発揮し、プロジェクトの円滑な進行や研究の発展へと繋がる指導を行ったか。
- ④助教としてプロジェクトに従事しつつ研究を推進した経験を踏まえて、宇宙科学のいずれかの分野において将来を展望するヴィジョンを獲得したか。当該学術コミュニティーに対し、そのヴィジョンを提示しそれを共有するグループを形成するに至ったか、あるいは、その将来性は高いか。

10. 勤務地:

宇宙航空研究開発機構 相模原キャンパス (神奈川県相模原市)

11. 身分:

宇宙科学研究所 特任助教 (国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構教育職任期制職員)

12. 待遇:

- (1) 機構の規程による。
- (2) 給与:能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。
- (3) 研究費:旅費、研究経費を含む研究費 100 万円が毎年度支給される。
- (4) 休日・休暇:完全週休 2 日制、祝祭日、年末年始、年次有給、夏季、慶弔、産前産後、育児、介護、看護、ボランティア等。
- (5) 始業、終業時刻、休憩時間:原則、始業午前 9 時 30 分、終業午後 5 時 45 分、うち、午後 0 時 15 分から午後 1 時まで休憩時間(ただし専門業務型裁量労働制を適用する)。
- (6) 所定労働時間を超える労働の有無:有(ただし、専門業務型裁量労働制を適用し、1 日のみなし勤務時間を 7 時間 30 分とする)。
- (7) 社会保険:各種社会保険完備(健康保険、厚生年金保険等)

13. 提出書類:

- (1) 履歴書
- (2) 研究歴
- (3) 論文リスト

- (4) これまでの研究概要と今後の研究計画(プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む。**特に上に挙げた3つの業務を念頭に研究計画を述べること。**)
- (5) 外部研究資金獲得実績(外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明記すること)
- (6) 他薦の場合は推薦書を提出することのできる方2名、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる方2名の氏名と所属、連絡先(電話番号、電子メールアドレス)
- (7) 主要論文の別刷り(3編以内)
- ※以下は欧州経済領域(EU 圏)在住者のみ、提出してください。
- (8) EU 一般データ保護規則(GDPR)に基づく個人情報の取扱いに関する同意書(様式 1)
14. 提出方法の Web サイトから電子的方法によりダウンロードしてください。

14. 提出方法

下記 Web サイトから電子的方法により提出してください。

<https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1545272270>

提出にあたっては、上記 web サイト上の指示に従って下さい。

upload していただくファイルは全て pdf 形式となります。特に、提出書類(2)から(6)は一つの pdf にまとめていただきます。

他薦の場合、推薦者にて直接、推薦書の web サイトへの upload をお願いすることになります。(入力いただいた推薦者のメールアドレスあてに依頼メールが自動送付されます)

なお、郵送又は持参での提出は、原則として受理できません。

15. 応募締め切り:

Web 入力及び(「他薦」の場合は推薦者による「推薦書」を含む)全ての必要書類提出について

2019年5月1日(水) 9時30分(日本時間) 必着

応募者は、お早めに上記 web サイトにアクセスの上、応募書類(「他薦」の場合の「推薦書」を含む)の提出方法を確認しておいてください。

応募締切直前に応募の場合、推薦者が「推薦書」を提出できる期間も短くなりますので、ご注意ください。

16. 問い合わせ先:宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所

太陽系科学研究系 研究主幹 齋藤 義文

電話: 050-3362-4632 E-mail: saito.yoshifumi@jaxa.jp

ただし、上記「14. 提出方法」に関する問い合わせ先:

科学推進部人事係

電話: 050-3362-2695 E-mail: ISAS-JINJI@jaxa.jp

17. その他:

選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。また、選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。宇宙科学研究所は、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

また、選考は文部科学省卓越研究員制度の選考と両立するようにすすめます。このため、応募者が2020年4月1日現在40歳未満である場合には、並行して公募される下記 HP アド

レスに掲載した文部科学省卓越研究員制度にも応募することを希望します。

https://www.jsps.go.jp/j-le/koubo_kenkyu.html

<個人情報の利用目的について>

宇宙航空研究開発機構の職員の公募に関連して提供された個人情報については、採用選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報を責任を持って破棄・消去いたします。

※<EU 一般データ保護規則(GDPR)に基づく個人情報の取扱いに関する同意書>

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下「JAXA」と言う。)は、採用活動及び人事管理のため、個人情報をご提供頂く必要があります、また、上記業務の履行のため JAXA と契約関係にある第三者へ提供することに同意を頂く必要があります。

ご提供頂く当該個人情報の取り扱いに関し、JAXA は、プライバシー及び個人情報保護の重要性を認識し、情報管理者として個人情報保護に関する法令、特に、1978 年 1 月 6 日の法律第 78-17 号(Data Protection Act)及び 2018 年 5 月 25 日より施行された 2016 年 4 月 27 日の EU 一般データ保護規則第 2016/679 号(General Data Protection Regulatory-GDPR)を遵守します。